

# 101-32

## 問題文

高血圧症治療薬の作用機序でないのはどれか。1つ選べ。

1. レニン阻害
2. アンギオテンシン変換酵素阻害
3. アルドステロン受容体遮断
4. アドレナリン $\alpha_1$ 受容体刺激
5. アドレナリン $\alpha_2$ 受容体刺激

---

## 解答

4

## 解説

$\alpha_1$  受容体を刺激すると末梢血管が収縮します。その結果、血圧が上昇します。よって、高血圧治療薬の作用機序では、ありません。

以上より、正解は 4 です。

ちなみに、選択肢 1 ですが

レニンとは、アンギオテンシノーゲンからアンギオテンシンIを合成する酵素です。アンギオテンシンや、アルドステロンは血圧上昇系のカスケードを構成する物質なので、レニンを阻害することで、降圧作用を示します。代表的レニン阻害薬はアリスギレンフマル酸塩（ラジレス）です。

選択肢 2 ですが

アンギオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬は、腎保護作用を有し、副作用として空咳や浮腫が知られている降圧薬です。代表的 ACE 阻害薬は、〇〇プリル（エナラプリル、カプトプリルなど）です。

選択肢 3 ですが

代表的アルドステロン受容体遮断薬は、スピロラクトンやエプレレノンです。

選択肢 5 ですが

$\alpha_2$  受容体を刺激すると、NE（ノルエピネフリン）の分泌が抑制されます。その結果、交感神経の興奮を抑制します。中枢性高血圧症に用いられます。代表的  $\alpha_2$  受容体刺激薬は、クロニジン（カタプレス）、メチルドパ（アルドメット）です。